

# 平成30年度事業計画

「動物の適正管理」及び「動物愛護」の推進を図ることで、「公衆衛生の向上及び県民の豊かな人間性の涵養等を目指し」事業を実施する。又これらの「事業の質を担保するため獣医師の学術及び技術の向上に関する事業等」を実施する。

公衆衛生の向上等には動物の適正管理及び動物愛護並びに獣医師の学術等の向上は相互に関連し、切り離すことはできない事業であるため、一体的に行うことにより事業効果を高めるものとする。

## 1 動物の適正管理

### 1) 狂犬病の感染予防とまん延防止事業

当会が各市町村と協力して組織的に対応することにより、狂犬病の発生予防及びまん延防止の達成に大きく貢献し、公衆衛生の向上に大きく寄与する。

#### a 犬の狂犬病予防注射

狂犬病予防法（昭和25年法律247号）に基づき、狂犬病の発生を防止するため犬の狂犬病予防注射を実施する。

○地域 : 県内全域

○予定頭数 : 34,000頭（集合注射19,000頭 病院注射15,000頭）

○実施に係る契約:(ア)山梨県市長会長並びに山梨県町村会長と県獣医師会と実施に係る契約(元契約平成12年5月23日、変更契約平成26年4月1日)

(イ)県獣医師会と獣医師と労働契約、業務委託契約の締結

(元契約平成22年4月1日、変更契約平成26年4月1日)

○契約獣医師数 : 63名（集合と病院実施52、病院のみ11名）

○動物病院の経営形態

集合注射52名（個人経営43、法人経営9）

病院注射63名（個人経営50、法人経営13）

○契約に基づき、県獣医師会より契約獣医師、契約法人への給与・報酬の支払い  
集合注射52名中43名給与、9名が報酬支払 病院注射については全員  
(63名)報酬支払

#### b 狂犬病接種率向上に係る普及啓発

○実施対象地域 県下全域

○狂犬病についての普及啓発広告（山日新聞に掲載）、ホームページ

○犬の登録の推進

○犬の鑑札、注射済票、犬マークシール、愛犬手帳及び装着リングの交付

## 2) 盲導犬の適正管理及び視覚障害者支援事業

盲導犬の適正管理と併せ視覚障害者への支援及び公共の福祉を目的に、県内の盲導犬に対して無料でワクチン接種及び衛生管理指導等を行う。

○支援対象犬：ハーネス友の会（会員50名）所属の盲導犬20頭

○支援内容：7種混合ワクチン接種、犬用フィラリア予防薬接種、ノミ・マダニの駆虫

盲導犬の適正管理のための無料相談助言

○協力獣医師：10名予定

○事業開始：平成20年6月1日より継続事業

## 2 動物の愛護

一般県民や将来を担う児童生徒に対し動物の愛護と適正管理について関心と理解を深め、人と動物が調和し共生する社会の実現を目指しており、心身の健全な発達に寄与し、また豊かな人間性を涵養することを目的に実施する。

### 1) 動物愛護デーの開催

県民に動物の愛護と適正な管理についての関心と理解を深め、生命尊重、平和の情操の涵養等に寄与することを趣旨とし、「動物の愛護及び管理に関する法律」第4条で規定されている動物愛護週間の期間中に、山梨県と共催で動物愛護デーのイベントを開催

開催予定日：平成30年9月23日（日）

開催予定場所：昭和町総合体育館

具体的主なイベント内容（予定）

ア 長寿犬表彰 県内の18歳以上の長寿犬（平成12年12月31日以前の生まれ）の飼育者を表彰 被表彰者平成29年度22名

イ 動物愛護図画コンクール 小学生を対象に実施 応募総数29年度1,370点

ウ 一日獣医師体験〈動物のお医者さん体験〉小学生を対象に実施

平成29年度38名参加

エ 犬猫無料健康診断・相談 平成29年度実績 計 80頭

オ 無料乗馬体験 平成29年度実績 計138名

### 2) 学校飼育動物支援

小学校で飼育している動物の診療、児童への動物の飼育方法等の指導を通し、動物の専門家として、将来を担う生徒に命の大切さ、愛する心、他人を思いやる心など情操教育の支援を目的として実施する。笛吹市の委託事業

ア 支援対象小学校：笛吹市立小学校10校（29年度実績10校）を予定

イ 支援予定獣医師：当会小動物診療獣医師約22名（予定）

ウ 支援期間：平成30年6月1日から平成31年3月31日（予定）

エ 支援の具体的内容（予定）

1) 学校で飼育している動物の診療

2) 児童への動物等の飼育方法の指導及び教職員への飼育施設、飼育管理に関する助言等

### 3) 2018動物感謝デーin JAPAN World Veterinary Day に対する協力

日時：平成30年12月1日（土）

主催：（公社）日本獣医師会

協力：全国55都道府県市獣医師会

目的：人と動物が共存する豊かな社会の構築と、動物を取り巻くより良い環境の実現を目指してイベントを開催

場所：東京都駒沢オリンピック公園 中央広場

## 3 獣医師の獣医学術・技術向上

獣医学の知識、技術の高位平準化を図り、獣医師を通じて地域社会への還元と、公開講座等により一般への獣医学術の普及を目的としており、獣医学術・技術の振興に大きく寄与する事業である。

昨年の7月にも九州北部豪雨による甚大な被害があり、毎年自然災害による被害が発生しています、今後、いつ発生してもおかしくない大規模災害時には、動物医療救護支援活動を進めるための体制づくりが必要になってきます。

昨年の11月には、昭和町と災害時における動物救護活動に関する協定を締結しました。災害時には、被災者は指定避難場所である学校等の体育館を利用しますが、ペットとの同行避難は難しい状況ですが、今回の締結により、災害のため授業が行われていない教室の一部を利用して、ペットと一緒に避難場所に避難出来る方法を考案した避難ケージで同行避難を可能にすることが出来ましたので、今後県内の市町村とも、同様な締結が結ばれ大規模災害に備える必要がある。

今年も高病原性鳥インフルエンザの感染が肉用鶏で1件確認され、野鳥でも確認され、鶏の殺処分羽数が多く畜産界のみならず、社会問題化しています。

このように状況等から、獣医師の獣医学術・技術向上対策は重要な課題で、このことなくしては本会の動物の適正管理及び動物の愛護事業等の推進は不可能となっているのが現状である。

具体的には、学会・講習・研修会を開催し、又その参加を奨励し支援する。

### 1) 平成30年度獣医学術関東・東京合同地区学会三学会ならびに同獣医師大会（川崎市獣医師会主催）の参加奨励・支援・共催

関東地区及び東京の10の獣医師会が各県持ち回りで毎年1回開催している。

開催日時：平成30年9月9日（日）

開催場所：つくば市竹園 2-20-3 つくば国際会議場

主催：公益法人茨城県獣医師会

共催：関東・東京各都・県・市9獣医師会

協賛：公益社団法人 日本獣医師会

後援：農林水産省、厚生労働省、環境省、（予定）

交通：大型バスチャーター予定

## 2) 学会・講習会研修会の開催

### ア 小動物講習会の開催

家庭で飼育されている犬や猫は人の伴侶動物と言われ、高齢化社会・核家族化社会において、家族の一員とみなされ、その動物たちが健康で幸せに暮らすことは、飼育者である人々の幸せに直結している。又家庭動物は人との接点が多く人と動物の共通感染症の対策が求められる。これらのニーズに対応するためには獣医師等従事者の技術や知識の高位平準が必要不可欠である。

このため、家庭動物医療に関する種々な分野における専門的知見の高い講師を招聘して研修会等を実施し、最新の学術情報を獣医師等従事者に提供すると共に、動物医療に関する知識や技術の普及・啓発をはかっていく。又関係者だけでなく一般の市民の参加を呼び掛ける。演題は検討中（小動物部会研修委員会）

（H29年度は僧帽弁閉鎖不全症の内科治療の課題とエランコの取り組み、僧帽弁閉鎖不全症の犬の麻酔管理、麻酔疼痛管理の基礎とコツ）

### イ 産業動物講習会の開催

最近牛のヨーネ病、豚の PED、高病原性鳥インフルエンザ等産業動物の病気について、畜産界のみならず、一般の関心が非常に高い。これら産業動物の疾病について時宜にかなった疾病について、畜産関係者（獣医師、人工授精師、農協職員等）を対象にその道の専門家を招聘し最新の知識を習得し治療、防疫対策等に資する。

演題検討中（H29年度は BVDV 蔓延防止のための管内農家への継続的な取り組み）

### ウ 公衆衛生関係研修会の開催

公衆衛生業務に携わっている関係者（獣医師、食品衛生監視員等県職員等）を対象に例年どおり研修会を実施し知識・技術向上に努める。

演題検討中（H29年度はアルボウィルス感染症について）

なお、講習会・研修会の開催については獣医師だけでなく関係者、一般県民に広く参加を呼びかけるものとする。

## 4 その他

1) 畜産協会、農業共済等県内関係団体との連携

2) 勤務獣医師待遇改善等